

Melitta®

アロマフレッシュ AFG 622



このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。保証書はこの取扱説明書に付いておりますので、販売店の記入をお受けください。この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは大切に保管してください。

メリタジャパンお客様相談室



0570-550267

* 一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

* 通話料はお客様負担となります。

Melitta®

JAPAN

安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。誤った取り扱いをしたときに想定される内容を「警告」と「注意」に区分してあります。

▼ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して明示しています。



警告

死亡や重傷を負う恐れがある内容です。



注意

傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。

▼ お守りいただく内容を次の図記号で明示しています。



禁止

してはいけない内容です。



必ず守る

実行しなければならない内容です。

警告



交流100V以外では使用しないでください。感電・火災・けがの原因になります。



コンセントは定格15A以上のものを単独で使用してください。他の器具と併用したり延長コードを利用したりすると異常発熱して発火することがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。



本体や電源プラグを水に浸けたり水をかけたりしないでください。内蔵の電気部品に水が入り、ショート・感電の恐れがあります。



電源コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みが緩いときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを傷つけないでください。無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。電源コードが破損し、感電・火災・けがの原因になります。



電源プラグにピンやごみを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグのほこりなどはプラグをコンセントから抜き、乾いた布で定期的に拭き取ってください。火災の原因になります。



分解・修理はしないでください。故障や異常があった場合は弊社お客様相談室へご連絡ください。



改造しないでください。感電・火災・けがの原因になります。



電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。



異常を感じたり、故障したりした場合は直ちに使用を中止してください。そのまま使用を続けると、火災・感電・けがをすることがあります。



稼働中のミルやコーヒー粉の通り道のフタには直接触れないでください。けがをする恐れがあります。



乳幼児の手の届くところに置いたり、近くで使用したりしないでください。火災、感電、けがをすることがあります。



お子様だけで使用したりしないでください。やけど、感電、けがをする恐れがあります。



水槽タンクやホッパーなどをセットせずに使用しないでください。やけどをする恐れがあります。















電源プラグを舐めないでください。乳幼児が誤って舐めないように注意してください。感電やけがの原因になります。



保護スイッチを指などで押して動作させないでください。けがをする恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意

 <p>コーヒー抽出中や保温中、電源オフ直後は本体や保温プレートに触れないでください。高温部でやけどをする恐れがあります。</p>	 <p>コーヒー抽出口に手や指を近づけないでください。コーヒーや湯がかかりやけどをすることがあります。</p>
 <p>コーヒー抽出中や抽出直後にフィルターカバーを開けたり、蒸気抜け口に触れたりしないでください。やけどをする恐れがあります。</p>	 <p>グラスポットをセットせずに使用しないでください。やけどやけがの原因になります。</p>
 <p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。感電したりショートして発火したりすることがあります。</p>	 <p>お手入れは本体が冷めてから行ってください。高温部でやけどをすることがあります。</p>
 <p>たたみ、じゅうたん、テーブルクロスなど熱に弱い敷物の上に置かないでください。熱や蒸気による変色・変形の原因になります。</p>	 <p>壁や家具の近くで使用したりしないでください。蒸気による変色・変形の原因になります。</p>
 <p>使用時以外（目が届かない場所に離れる場合を含む）は電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。</p>	 <p>グラスポットを載せたまま本体を動かさないでください。やけどやけがの原因になります。</p>
 <p>部品の取り付け・取り外しは、電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。けがをする恐れがあります。</p>	 <p>ミル歯に直接手で触れないでください。けがをする恐れがあります。</p>

使用上の注意



空運転禁止

水槽タンクに水が入っていない状態で運転すると故障の原因になります。



水以外は使用しない

水槽タンクに牛乳や酒など水以外のものやお湯を入れないでください。故障の原因になります。



不安定な場所で使用しない

本体を傾けた状態や不安定な場所で使用しないでください。本体が倒れてお湯やコーヒーでやけどをすることがあります。



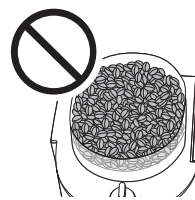
コーヒー豆以外には使用しない

この製品のミルはコーヒー豆専用です。コーヒー豆以外（湿ったコーヒー豆や生豆を含む）を挽くと、内部の詰まりや破損など故障の原因になります。



コーヒー豆を挽いている間はホッパーのフタを開けない

ホッパーのフタを開けると安全装置が働いて停止します。ホッパーのフタ以外で安全装置を解除しないでください。



コーヒー豆をホッパーに放置しない

異臭や故障の原因になります。ホッパー内のコーヒー豆は3日以内に使い切るようにしてください。

安全上のご注意



抽出中は蒸気抜口に顔や手を近づけない

コーヒー抽出中や抽出直後は蒸気が出て大変危険です。蒸気抜口に手を近づけたりやフィルターカバーを開けたりしないでください。



抽出中にガラスポットを取り出さない

熱いコーヒーが飛び散り、やけどをする恐れがあります。抽出が完全に終わったことを確認してからポットを取り出してください。



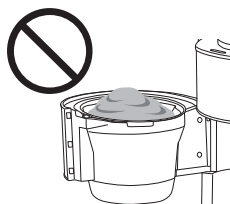
ガラスポットの横転注意

保温中に横転させるとコーヒーが漏れ出し、やけどをすることがありますので注意してください。ポットのフタは密閉されていません。



ガラスポットに衝撃を与えない

ガラスポットを落としたり、硬いものにぶつけたりしないでください。ガラスが割れてやけどや破損の原因になります。



コーヒー粉を入れすぎない

目安以上のコーヒー粉を入れるとコーヒーがあふれてやけどをすることがあります。



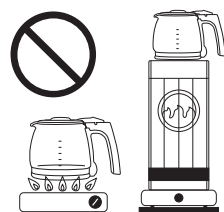
連続抽出は5分以上待つ

続けてコーヒーを抽出する場合は電源が切れてから5分以上待つてください。本体が熱いうちに水の入った水槽タンクをセットすると、蒸気が出てやけどすることがあります。



保温プレートに触れない

使用中・使用後は保温プレートが高温になっています。やけどをする危険があるので手を触れないでください。



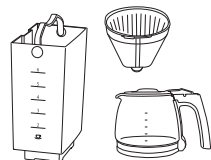
ガラスポットを直火やストーブで温めない

ガスレンジの直火やストーブなど暖房器具の上でのご使用は大変危険ですので絶対にしないでください。



ガラスポットなどを食洗機や電子レンジに入れない

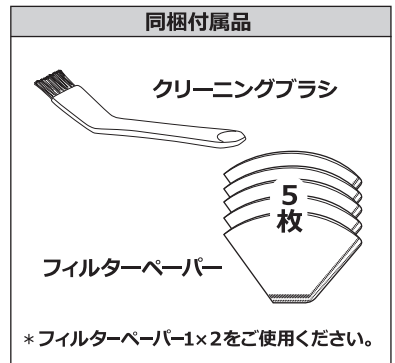
ガラスポットや水槽タンク、内部フィルターなど取り外しが可能なパーツを電子レンジや食洗機に入れないでください。破損の原因になります。



各部の名称



仕様	
抽出方法	ペーパードリップ式
定格	AC100V／850W
最大水容量	750ml (6杯用)
温度ヒューズ	229℃
大きさ	幅235×奥行205×高さ416mm
重量	3.5kg

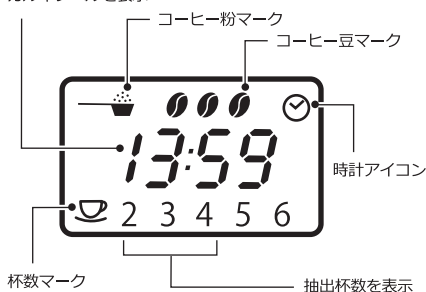


※商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。部品の購入方法は、当社ホームページをご覧ください。

各部の取扱方法

操作ボタンとディスプレイ表示

現在時刻、タイマー時刻、
カルキレベルを表示



* 杯数ボタンを長押し(2秒)するとディスプレイにライトが点灯します。消灯したい場合はもう一度杯数ボタンを押します。

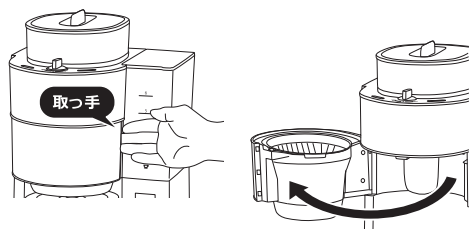
ボタンと名称	機能
時間設定ボタン	現在時刻、タイマーの時間設定
分設定ボタン	現在時刻、タイマーの分設定、保温設定 CALCボタンとともにカルキレベル設定
杯数ボタン*	コーヒー豆を挽く量の設定 ディスプレイライトの点灯・消灯
電源ボタン	ミルク、抽出のスタート・中止、保温設定
コーヒー豆ボタン	コーヒー濃度の設定
タイマーボタン	タイマーの設定・スタート
コーヒー粉ボタン	コーヒー粉モード・コーヒー豆モード の設定、コーヒー粉通道の開閉
CALCボタン	カルキレベルの設定

フィルターカバーと内部フィルター

開閉のしかた

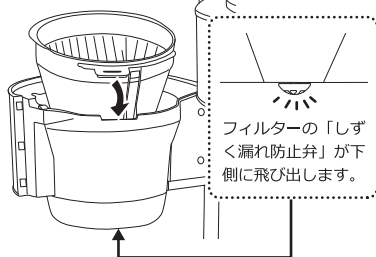
本体を押さえながらフィルターカバーの取っ手に指をかけ、
手前に引いて開きます。

閉めるときは「カチッ」と音がするまで閉めてください。



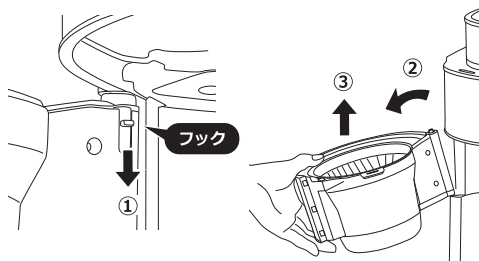
内部フィルターの取り付け方

内部フィルターの持ち手を手前にしながら、フィルターカバーの切り欠きにはまるよう確実に挿入してください。



フィルターカバーの外し方

- ① フックを下に下ろしてフィルターカバーのピン(取り付け軸)を外します。
- ② フックを下ろしたままフィルターカバーを斜め下に傾けるようにして上側のピンを外します。
- ③ フィルターカバーを軽く持ち上げて下側のピンを外します。



⚠ 注意

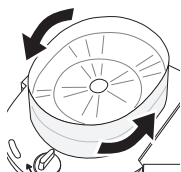
内部フィルターが正しくセットされていないとフィルターカバーがきちんと取り付けられません。また、コーヒーを抽出するときにガラスポットからこぼれたり、抽出できない原因になります。

各部の取扱方法

ホッパー

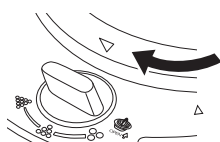
ホッパーの取り外し方

ホッパーを両手で押さえ、反時計回りに回転させます。



ホッパーの取り付け方

ホッパーと本体にある▽マークの位置を合わせてはめ込み、ホッパーを両手で押さえ、時計回りに止まるまで回します。ホッパーの▽マークが本体正面に合っていることを確認します。



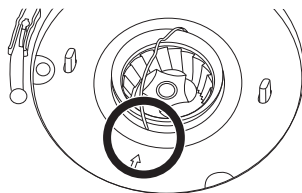
水槽タンク

取り外し方

水槽タンクのフタを開け、タンク内に収納された取っ手を持って真上に引き上げ、本体から取り出します。

取り付け方

本体側面のガイドレールに沿って、上からゆっくり本体にセットします。



注意

水槽タンクに水を入れるときはタンクを本体から外してください。本体に取り付けた状態で注水し、水がこぼれて本体内部に入ると故障の原因になります。

保温プレート

本機には保温機能が付いています。残ったコーヒーを保温したい場合は以下の要領で好みの保温時間を設定してください。

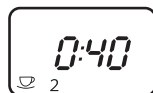
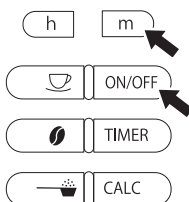
- ① 電源ボタンを長押しすると保温時間が点滅表示されます。電源ボタンを押したまま、分設定ボタンを短く押して希望の保温時間に合わせます。

* 20分、40分、60分の設定が可能です(工場出荷時の設定は40分になっています)。

- ② 電源ボタンから指を離すと設定完了です。

* 設定した時間になると自動的に電源が切れます。

* 電源プラグを差した直後は保温の設定ができません。現在時刻の設定を行ってから保温時間を設定してください。設定した保温時間は電源プラグを抜いても保存されます。

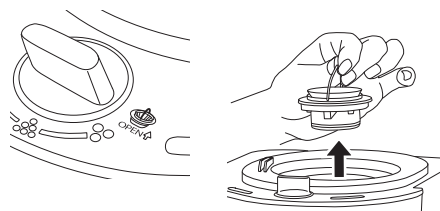


* 分設定 (m) ボタンを押すごとに保温時間を表す数字「0:20」「0:40」「0:60」が切り替わります。

ミル歯

ミル歯の取り外し方

電源をオフにして、挽き目調整ダイヤルを反時計回りに回し「OPEN」の位置に合わせます。ホッパーを取り外した後、ミル歯の取っ手を持ってゆっくり引き上げます。



取り付け方

ミル内のコーヒー豆や粉をブラシでかき出した後、ミル歯の取っ手と本体の矢印マークが合うようにはめ込みます。挽き目調整ダイヤルを時計回りに回して「OPEN」以外の位置に合わせると、ミル歯が固定されます。

ご使用前に



時刻の設定

電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイに「12:00」が点滅します。時間設定(h)ボタン、分設定(m)ボタンを押して、現在の時刻にセットしてください。

* 時刻をセットしなくても抽出は可能です。お急ぎの場合は、電源プラグをコンセントに差し込んだ後、そのまま電源ボタンを押すとコーヒーの抽出が始まります。

水の硬度設定

本機にはカルキ汚れの蓄積をお知らせする機能があります。お知らせが正しく機能するようにお住まいの地域の水の硬度に合わせて硬度の設定をしてください。



- ① 電源プラグを差し込み、時刻の設定をしてください。
(前項「時刻の設定」参照)
- ② CALCボタンを長押しします。
* 設定中のレベル値がディスプレイに表示されます。
- ③ CALCボタンを押したまま(m)ボタンを押すごとにレベル値が替わります。右の表を参考に、設定したいレベルを選んでください。
* 工場出荷時は「4」にセットされています。
- ④ レベルを選択したら、CALCボタンから指をはなして設定を保存します。

レベル	硬 度	
1	125mg/L未満	軟水 ↑
2	125~250mg/L	
3	250~375mg/L	↓ 硬水
4	375mg/L以上	

硬度はお住まいの地域の水道局などにお問い合わせください。分からない場合は「1」に設定してください。



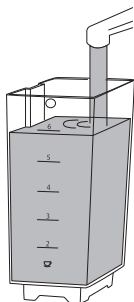
注意

コーヒー抽出中に硬度の設定はできません。必ず抽出前に設定してください。設定した硬度レベルは電源コードを抜いても保存されます。

洗浄運転

初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは、本体内部を以下の手順で2回、洗浄運転してください。

- ① ホッパーを本体から外し、湿らせた布で汚れを拭き取ります。
- ② ミル歯とホッパー以外の取り外せる部品を水洗いします。
- ③ 水槽タンクに目盛り「6」まで水道水を入れます。
- ④ コーヒー粉ボタンを押してコーヒー粉モードにします。ディスプレイにコーヒー粉マークが表示されていれば設定完了です。
- ⑤ ペーパーフィルター、コーヒー粉を入れずにフィルターカバーを閉じ、電源ボタンを押します。*P10 ご使用方法:②~③参照
- ⑥ 水槽の水が完全になくなり、電源ボタンのランプが消灯すれば1回目終了です。
- ⑦ ③~⑥の操作をもう一度繰り返します。



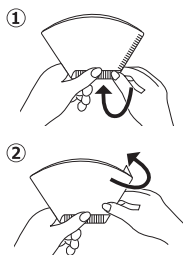
ペーパーフィルター、
コーヒー粉は入れない

ご使用方法

抽出準備

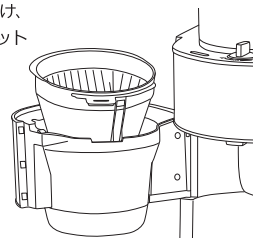
1. フィルターペーパーを折る

フィルターペーパーの2カ所を図のように折ります。
「メリタフィルターペーパー1×2」をお使いください。



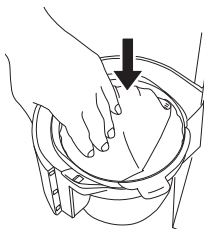
2. 内部フィルターをセットする

フィルターカバーを開け、内部フィルターをセットします。
* P5参照



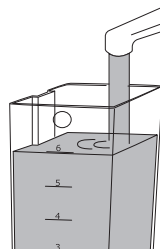
3. フィルターペーパーをセット

フィルターペーパーを開いて内部フィルターにセットします。フィルターに沿うように指でしっかりと押さえつけてください。



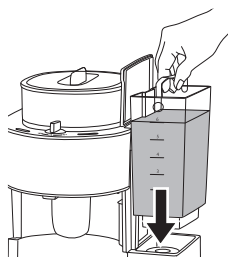
4. 水槽タンクを外して杯数分の水を入れる

水槽タンクのフタを上げ、本体から水槽タンクを外して杯数分の水を入れます。水槽タンクの目盛りはコーヒーの出来上がり杯数の目安を示します。



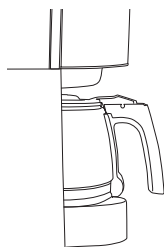
5. 水槽タンクをセットする

水槽タンクのフタを上げ、水槽タンクを本体にセットします。水槽タンクのフタを下ろします。



6. グラスポットをセットする

グラスポットを水平にして奥までしっかり挿入します。



しずく漏れ防止弁とフタのコーヒー受け口の位置が合っていないとコーヒーが漏れることがあります。

ご使用方法

コーヒー豆から抽出する

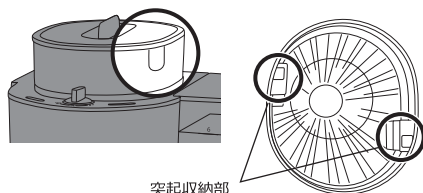
1 コーヒー豆を入れる



ホッパーのフタを開け、コーヒー豆を入れます。ホッパーの最大容量は80gです。

*コーヒー粉をホッパーに入れないでください。

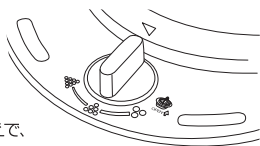
2 ホッパーのフタをセットする



突起収納部

ホッパーのフタの2つの突起がホッパー本体の突起収納部に収まるようにフタを開めてください。

3 挽き目を設定する



挽き目調整ダイヤル

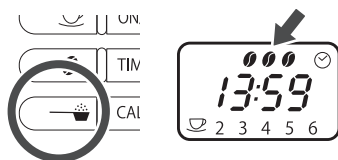
(3段階)の切り替えて、製品を正面から見て左に回すほど、細めに挽くことができます。

⚠ 注意

ホッパーのフタとホッパー本体にすき間がないことを確認してください。

* ホッパー本体とホッパーのフタでミル歯を作用させるスイッチを押す仕組みになっているため、ホッパー本体とホッパーのフタを正しくセットしないとコーヒー豆を挽くことはできません。

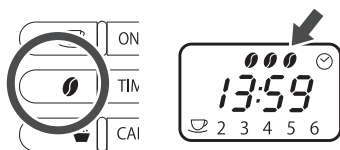
4 コーヒー豆モードにセットする



コーヒー粉ボタンを押してコーヒー豆モードに設定します。ディスプレイのコーヒー豆マークが表示されていれば設定完了です。

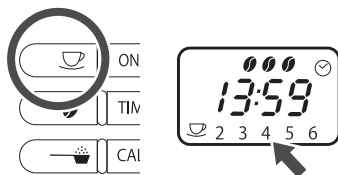
* コーヒー粉ボタンを押すごとにモードが切り替わります。

5 コーヒー濃度を設定する



濃度設定ボタンを押すごとにディスプレイのコーヒー豆マークの数が替わります。同じコーヒー豆でマイルドからストロングまでお好みの味が楽しめます。

6 コーヒーを挽く量を設定する



杯数ボタンを押してコーヒーを挽く量を設定します。水槽タンクに入れた水と同じ数字にセットしてください。

7 電源ボタンを押してコーヒーを抽出する

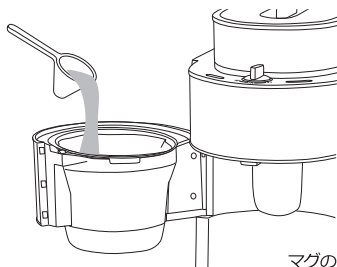


ホッパーのフタを閉め、電源ボタンを押すと緑色ランプが点滅し、しばらくしてミル挽きが始まります。ミル挽きが終わると抽出が始まり、抽出が終わるとブザー音が鳴り、緑色ランプが点滅から点灯に変わり、保温モードに切り替わります。

ご使用方法

コーヒー粉から抽出する

① コーヒー粉を入れる



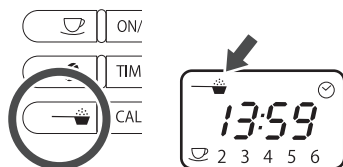
杯数目盛り・水量・コーヒー粉の目安

杯数目盛り	コーヒー粉
6	6杯 (約42g)
5	5杯 (約35g)
4	4杯 (約28g)
3	3杯 (約21g)
2	2杯 (約14g)

*コーヒー豆の種類や挽き方によって異なります。

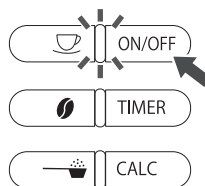
マグの場合はコーヒー粉の入れすぎに注意しながらお好みで調整してください。

② コーヒー粉モードにセットする



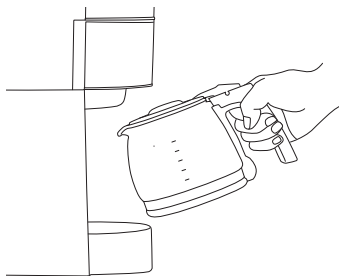
コーヒー粉ボタンを押してコーヒー粉モードに設定します。ディスプレイにコーヒー粉マークが表示されていることを確認してください。

③ 電源ボタンを押す



電源ボタンを押すと緑色ランプが点滅し、しばらくしてコーヒーの滴下が始まります。

④ 抽出終了を確認してカップに注ぐ



抽出が終了するとブザーが鳴って緑色ランプが点滅から点灯に替わり、保温モードに切り替わります。コーヒーが完全に落ち切ったことを確認してからグラスポットをゆっくり抜き、カップに注ぎます。保温モードが終わるとランプが消灯します。

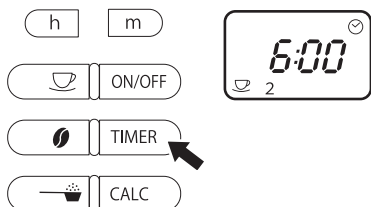
- * 空焚きの恐れがありますので極端に少ない量のコーヒーを保温しないでください。
- * 長時間保温するとコーヒーの風味が損なわれます。早めにお召し上がりください。

ご使用方法

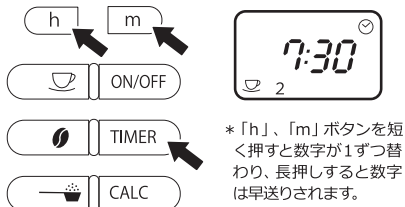
タイマーを設定する

本機にはタイマー機能が付いています。時刻設定が完了していることを確認した後、お好みの時間にコーヒー抽出時刻を設定してください。

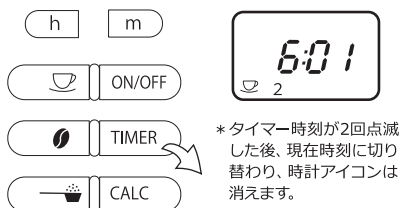
- ① タイマーボタンを押し続けている間はタイマー設定モードになり、抽出予定時刻と時計のアイコンが点滅します。



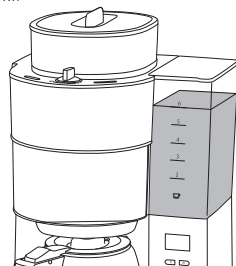
- ② タイマーボタンを押したまま、時間は「h」、分は「m」のボタンをそれぞれ押して希望の抽出時刻に合わせてます。



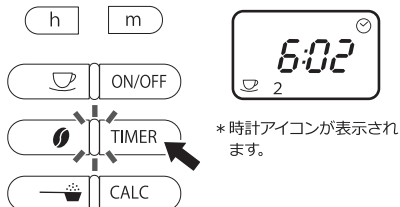
- ③ タイマーボタンから指を離すと表示が2回点滅して設定が保存されます。



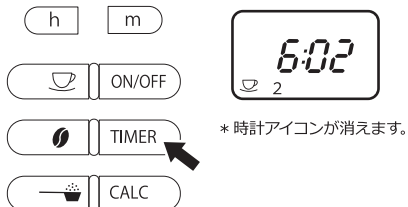
- ④ コーヒー抽出の準備を行います。
*P8、P9、P10参照



- ⑤ タイマーボタンを短く押すと抽出予定時刻が2秒間だけ表示され、タイマーボタン横のランプが白色点灯し、タイマーがスタートします。



- ⑥ タイマーを解除したい場合は、もう一度タイマーボタンを短く押します。白色ランプと時計のアイコンが消え、タイマーが解除されます。

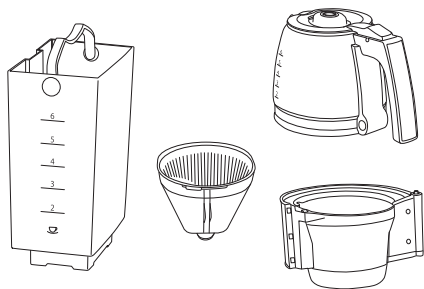


ご使用方法

日常のお手入れ

水洗い

内部フィルター、フィルターカバー、水槽タンクやガラスポットは水ですすぎ洗いでください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水またはぬるま湯で薄め、柔らかいスポンジを使用して軽く洗ってください。その後、洗剤が残らないようにすすぎ洗いをしてください。



- ガラスポットを洗うときは必ず柔らかいスポンジで洗ってください。
- ガラスに傷が付くと割れる原因になるので、研磨剤入りのスポンジやクレンザー、たわし類等は使用しないでください。
- 水あかがこびりついたものは酢1に対し、ぬるま湯3の溶液に浸し、しばらく放置した後、すすいでください。
- 汚れがひどいときは酸素系台所用漂白剤などを利用してください。

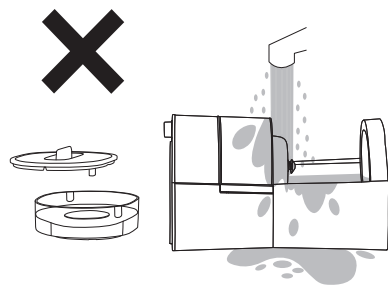


無理にガラスポットの内部に手を入れて洗わないでください。ガラスが割れてけがをすることがあります。

内部フィルター、フィルターカバー、水槽タンクやガラスポットは食器洗い乾燥機で洗わないでください。

水洗いできません

本体の汚れは濡った布で拭いてから乾いた布で拭き取ってください。ホッパーはクリーニングブラシでコーヒーくずを落とした後、乾いた布で拭き取ってください。ミル歯はクリーニングブラシでコーヒーくずを落としてください。



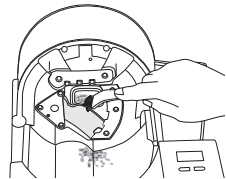
本体には絶対に水をかけたり、浸けたりしないでください。感電や故障の原因になります。

ホッパーは水洗いしないでください。内部に水が入ると臭いや故障の原因になります。もし入った場合は、十分に乾かしてください。

シンナー、ベンジン、ベンゾール、除光液、ミガキ粉、たわしなどを使用すると変形・変色・変質したり、表面に傷がついたり破損の原因となりますのでおやめください。

コーヒー粉の通り道のお手入れ

- ① ホッパー、フィルターカバーと水槽タンクを取り外します。
- ② 平らなところに本体を背にして倒します。
- ③ コーヒー粉ボタンを5秒間長押ししてコーヒー粉の通り道のフタを開け、クリーニングブラシで周辺に残ったコーヒーくずをかき出します。
- ④ 再度コーヒー粉ボタンを長押ししてフタを閉めます。
- ⑤ 本体を起こし、かき出したコーヒーくずを乾いた布などで拭き取ります。



コーヒー粉の通り道のフタの開閉中は、ふたやその周辺に絶対に触れないでください。大けがをすることがあります。

* 長期間使用しない場合は、上記の要領で各部をお手入れした後、保管してください。

ご使用方法



カルキ洗浄のしかた

CALC洗浄ボタンが赤く点灯するとカルキ汚れ蓄積のサインです。以下の手順でカルキ洗浄を行ってください。



注意

カルキ洗浄を行う時は、時刻設定がされていること、タイマー設定がオフになっていることをご確認ください。



- ① 水槽にカルキ洗浄液を注ぐ
水槽タンクの「6杯」の目盛りまで水を注いだ後、洗浄剤を入れてよく攪拌します。
*メリタコーヒーマーカークリーナーアンチカルキ(別売り) 20gを使用してクリーニングしてください。
- ② CALCボタンを短く押す
CALCボタンを短く押すと、赤色ランプが点滅し、カルキ洗浄が始まります(所要時間:約25分)。
*カルキ洗浄が終了すると、CALCボタンが消灯し、電源が自動的に切れます。
*カルキ洗浄中に電源を切ったり、他の操作はしないでください。洗浄が中断された場合、CALCボタンは消灯しません。
*カルキ洗浄が終了してCALCボタンが消灯しても水槽タンクに水溶液が残っている場合があります。
- ③ コーヒーを抽出する前に洗浄運転(P7参照)を2回行ってよくすすいでください





修理を依頼する前に

以下の内容をチェックしても症状が改善しない場合はメリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

症 状	ここをお調べください
電源が入らない	■ 電源プラグはコンセントに入っていますか?
湯が出ない/湯の出が悪い・遅い	■ 電源ボタンはオンにしましたか? ■ 水槽タンクには水は入っていますか? ■ 水槽タンクの中に異物が詰まっていますか? ■ 最近1~2カ月の間にメリタコーヒーマーカークリーナーアンチカルキでのお手入れをしていますか?
フィルターからコーヒーが落ちてこない/フィルターから湯が溢れる/フィルター内に湯が残る	■ コーヒー粉を入れすぎではありませんか? ■ グラスポットはきちんとセットされていますか? ■ 内部フィルターは正しくセットされていますか?
ミル歯が止まる・空回りする	■ ミル歯の隙間にコーヒー粉が詰まっているかもしれません。クリーニングブラシでコーヒー粉をかき出すかエアースプレー等で飛ばしてから電源ボタンを押してください。 ■ ホッパーとホッパーのフタはセットされていますか?
豆マークが点滅	■ ホッパーはきちんとセットされていますか? ■ ホッパーのフタを開けていますか?
コーヒーがぬるい	■ 保温時間が過ぎていませんか? *設定した保温時間まで保温機能は作動していますが、コーヒーの温度は淹れてから少しづつ下がっていきます。
コーヒーが薄い	■ ホッパー内にコーヒー豆が詰まっていませんか? ■ 杯数ボタンでコーヒー豆を挽く量を設定しましたか? ■ 水槽タンクに入れた水量より、杯数設定が少なくなっていますか? ■ P12に記載されている「コーヒー粉の通り道のお手入れ」を実施していますか?
コーヒーが濃すぎる	■ コーヒー粉を入れすぎではありませんか? ■ 水槽タンクに入れた水量より、コーヒーを挽く量が多くなっていますか? ■ P12に記載されている「コーヒー粉の通り道のお手入れ」を実施していますか?

ご購入可能な交換部品、別売り製品

ご購入は、お近くの量販店、ショッピングサイトまたはメリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

部品名称／部品番号			
ポット CP-622		ポットフタ CP621フタ	
フィルターカバー FCAFT621		内部フィルター CF621	
ホッパー CH622		ホッパーフタ CH622フタ	
水槽タンク WT622		ミル歯(上歯) UB621	
メジャースプーン MJ-0502		メリタ コーヒー メーカークリーナー アンチカルキ MJ-1501	

修理・アフターサービスについて

修理には専門的な知識および技術が必要です。誤った修理は、火災や感電などの危険な事故につながりますのでおやめください。「修理を依頼する前に」の表によりお調べいただいても異常があるときは、事故防止のため使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室にご相談ください。その際、品名とお買い上げ時期をお知らせください。

- この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための必要な部品）は製造打切後、最低5年間保有しています。
- 一般家庭以外（たとえば業務用など）にお使いになったときの故障は、保証期間内でも原則として有料修理になります。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。そのほか詳細は保証書をご覧ください。

保証規定

- お客様の正常なご使用状態で、保証期間中（お買い上げ日より1年間）に故障した場合は、無料修理させていただきます。その際、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げ販売店またはメリタジャパンお客様相談室にご依頼ください。
 - 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、設置、落下、あるいは輸送による故障および損傷
 - 火災、塩害、ガス害、異常電圧、および地震、雷、風水害、その他の天災地変などによる故障および損傷
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.
 - ご転居の際は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - ご贈答品などで、本書に記入されたお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

修理メモ

- * この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室へお問い合わせください。
- * アフターサービスと保証についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室へご相談ください。



0570-550267

*一般電話・公衆電話からは市内通話料金をご利用いただけます。

- * 通話料はお客様負担となります。

[受付時間] 9:00～12:00 13:00～17:30
※土・日・祝日・年末年始は除く

®Registered trademark of a company of the Melitta Group

保証書

この商品には「保証書」が付いています。

- 保証対象は本体のみです。
- 保証書は販売店からお渡しいたします。必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みになったうえで大切に保管してください。
- 万一、故障したときは、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が取り次ぎ無料修理いたします。

※電気系統の故障以外（破損など）は保証対象外です。

品名	
アロマフレッシュ AFG622	
お買い上げ年月日	
年 月 日	保証期間 本体1年
お客様	ご住所 〒 TEL () フリガナ
	ご氏名
販売店	店名住所 ★この欄に販売店によるご記入がない場合は無効となりますので必ず記入の有無と捺印をご確認ください。
	TEL () (印)

販売店様へのお願ひ

保証書に必ずご購入日、貴店名、住所、電話番号をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

販売者 メリタジャパン株式会社

- この保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内の修理やその後のアフターサービスに利用させていただく目的から記録に残す場合がありますのでご了承ください。
- 修理や配送を当社から協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供することはありません。